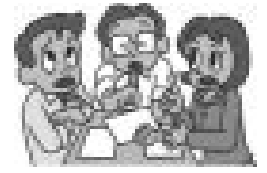


1. はじめに

このたび、中心市街地の活性化に関する情報誌として、「奥州市中心市街地まちづくりニュース」を発行することといたしました。奥州市中心市街地活性化基本計画（以下「中活計画」と表記）の策定状況や国の認定へ向けた動き等をお知らせしていきます。



2. 中活計画の国の認定へ向けて

奥州市では、現在、奥州市中心市街地活性化協議会（以下「協議会」と表記）と連携・協力しながら、中活計画の策定作業を進めており、当該計画の本年度中の国の認定を目指しています。

その一環として、奥州商工会議所が事業主体となって「中心市街地コンセンサス形成事業」を実施しています。この事業の中で、商業者、消費者等広く市民から意見を聴取するため、協議会内に「街なか市民会議」を設置し、当該意見を中活計画に反映させるべく、提言書の作成を進めるとともに、中活エリア内の事業者を対象者とした「事業所等経営に関するアンケート調査」を実施しました。以下、本調査結果の概要についてお知らせします。

3. 意向調査のまとめ

今回は、「事業所の現状と今後の対策」、「中心市街地のまちづくりの方向性」という2つのテーマについて、調査しました。主な設問に対する回答をまとめた結果は、以下のとおりです。

調査概要

配布対象：中心市街地活性化エリア内に立地し、かつ、奥州商工会議所、商店街振興組合、商店会、社交業組合のいずれかに加入している事業所

配布方法：商工会議所職員等の直接訪問による配布回収

配布数：504事業所

回収数：401事業所（回収率74.2%）



テーマ1：各事業所の現状と今後の対策

後継者については、半数以上の方が「後継者がいない」と答えています。

5年後の経営状態の見通しについては、「経営が悪化」「撤廃・廃業している」と答えた方を合計すると4割を超え、一方で「順調に発展している」と答えた方が1割程度だったことから、今後の経営状態について不安に感じている方が多いと言えます。（図1）

また、「撤退・廃業している」と答えた方の理由として「売り上げの停滞」「後継者がいない」と答えた方が、ともに約4割を占めています。

経営に関する現状については半数以上の方が「対策が必要だが、具体的な手段がない」と答えています。（図2）

今後の経営方針については、「接客の強化」と答えた方が最も多く、次いで「経費の削減」「顧客管理の充実」となっています。



図1 5年後の経営状況の見通しについて

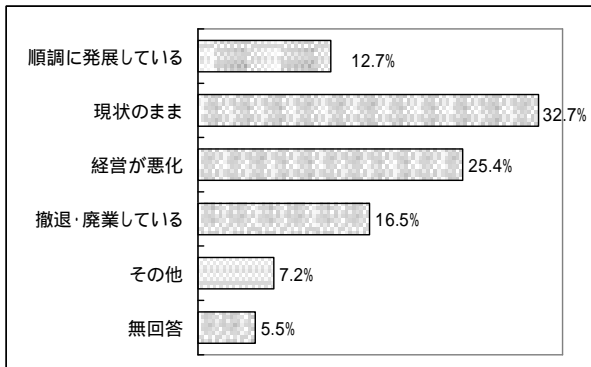
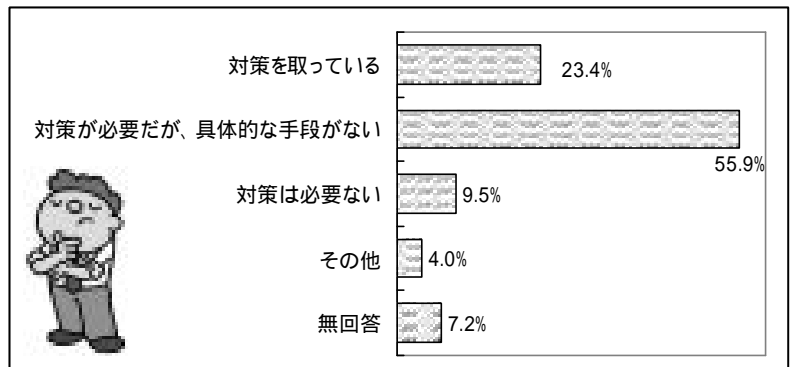


図2 現状に対する対策について



テーマ2：中心市街地について

中心市街地の現状に関する問題点として、最も多く挙げられた問題は「空き店舗の増加」でした。次いで「大型店の影響による集客力の低下」、「集客力が弱い」となっています。(図3)

中心市街地活性化のために必要なことについては、「商業機能を高めることにより、訪れる人(買物客)を増やす」という意見が最も多く挙げられています。商店街、あるいは事業者として中心市街地活性化のためにできることとしては、「自助努力が結果的に活性化に繋がると考える」といった意見が特に多く見られます。

メイプル西館の活用については、「市民が集い、活動できる施設」「飲食ができる施設」といった意見が比較的多いものの、「子育て支援施設」「観光拠点施設」等への期待も高い状況にあります。(図4)



図3 中心市街地の現状に関する問題点

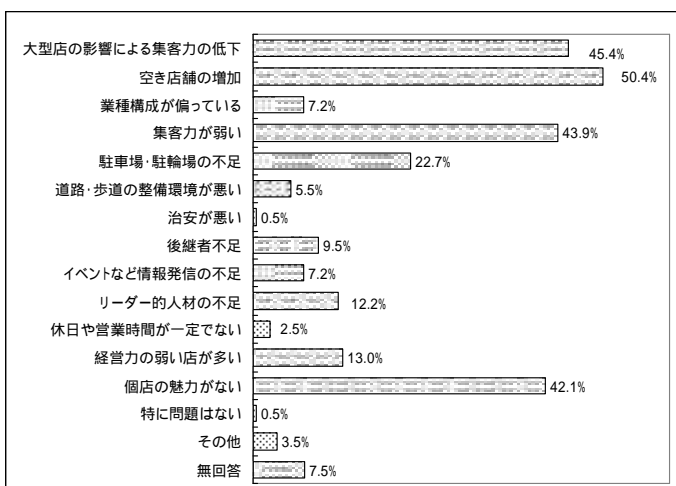
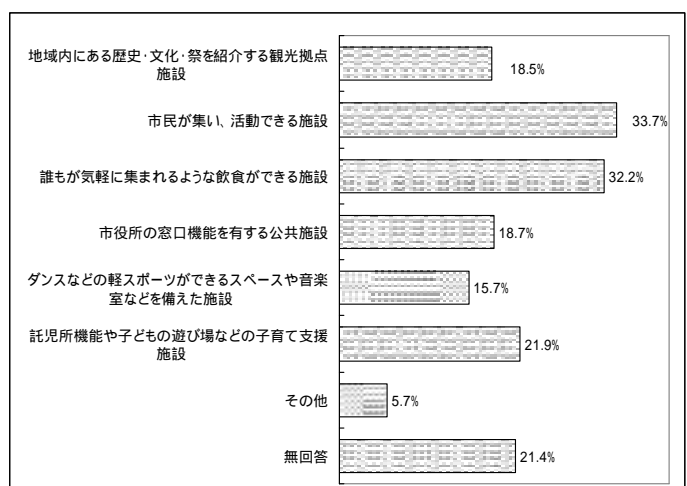


図4 メイプル西館の活用



市民・事業者のみなさんとの協働による取り組みにより、奥州市中心市街地の活性化を進めていきましょう。

発行 奥州商工会議所
 〒023-0818 奥州市水沢区字東町4番地
 電話 0197-24-3141
 F A X 0197-24-3148

